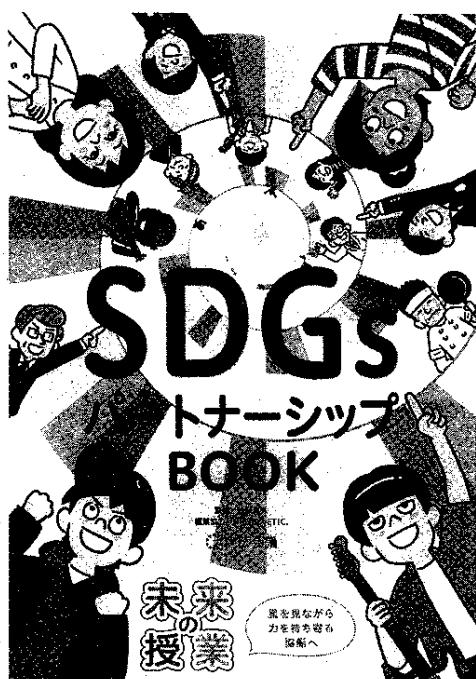


SDGs紹介の書籍に掲載 富士宮高校会議所 「マスマス元肥」の取り組み

SDGsの問題解決についての取り組みを

紹介する書籍『SDG頭』の活動が掲載され
SDGsパートナーシップBOK』に、富士宮高
校会議所（吉村未夢会）が協力して、ニジマスの
学校に配布される。同会議所メンバーが



「マスマス元肥」を紹介している書籍

全国の小中学校へ配布



岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

残渣（ごんさ）と朝霧（あさぎ）牛の糞尿を使つたたい肥マスマス元肥（げんぴ）を開発し商品化することで、持続可能な社会づくりに挑戦する活動が取り上げられた。

書籍は東京都市大学院環境情報学研究科の佐藤真久教授が監修し、NPO法人ETICが編集協力。教材としても活用され、SDGsを取り組む自治体やNPO、企業の具体的な先進例を多数紹介。4つの異なる学習スタイルを持つ子供たちがSDGs（パー

トナーシップ）について学習、体験し、成長するストーリーを、マンガと文章で楽しくわかりやすく描いていく。第一章から4章で構成され、同会議所の取り組みは第3章の「中高生が活躍！みんなの『地域活性化プロジェクト』を見に行こう」で紹介されている。これを機に同会議所メンバーや「さらに持続可能な活動を通して、富士宮を元気にしようと決意を新たにした」という。